

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 田中 清史 役職 / official position : 教授

1. 研究テーマ / Research Theme
<p>計算機アーキテクチャ、リアルタイム組込みシステム、低消費電力、高機能メモリシステム、FPGA、リアルタイムスケジューリング、組込み OS</p>
<p>2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired</p> <p>研究室教育は必修 A 科目 (先端) 又は研究支援科目 (融合) の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。</p> <p>Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.</p> <p>大学院での研究を遂行することにより、調査、問題発見、立案と計画書作成、実装、評価、論文 (報告書) 作成、プレゼンテーションといった、将来の仕事において様々な場面で必要とされる能力を凝縮した形でトレーニングすることができます。特にこの研究室では、計算機ハードウェアの論理設計を経験することにより、オブジェクト群の並行動作 (システム全体) をイメージする力と、それを実現するためのオブジェクト設計 (個々の問題解決) 能力が養われます。博士後期課程学生は更に、英語でのディスカッションおよびプレゼンテーション能力を養います。</p>
3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle
<p>本研究室では、週一回の研究室ゼミ、および随時の個別ミーティングにより研究を進めます。研究室ゼミでは、参加メンバー共通の課題を扱い、文献を読み解く力と自身の言葉で説明できる力を養います。個別ミーティングでは短期的目標を設定し、それを達成するための方法に関する議論、および達成度に関する報告を行います。教員は方向性の設定、修正についてアドバイスを行いますが、個々の問題に対する解決法は学生が自ら考えることを重視します。</p>
4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities
<p><input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : (石川コース) 勉強会、研究の進捗報告、および発表練習</p> <p><input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : (社会人コース) 勉強会、研究の進捗報告、および発表練習</p> <p><input type="checkbox"/> 随時活動 / Activities when necessary : 短期的目標設定、達成方法の議論、および進捗報告</p> <p><input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 学会発表、北陸地区関連研究室合同セミナー</p>
5. 年間スケジュール / Annual Schedule
<p>本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP 参照: ホーム>教育>履修関係>履修案内)</p> <p>Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)</p>
<p>博士前期課程 (4月入学の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配属後半年程度: 修士論文または課題研究のテーマ設定に向けた研究分野の調査 ・配属後半年以降: 研究立案および研究計画提案書作成 ・M2 の前半: 研究実施 ・M2 の9月~3月: 対外発表 (情報処理学会、電子情報通信学会などの研究会) ・M2 の12月頃: 修士論文または課題研究のドラフト完成

- ・合同セミナー参加(JAIST) (8月)
- ・合同セミナー参加(金沢大学) (10月)
- ・合同セミナー参加(福井大学) (12月)
- ・随時：コンピュータシステム関連査読付会議参加・発表（推奨）

博士後期課程（4月入学の場合）

- ・配属後半年程度：博士論文のテーマ設定に向けた研究分野の調査・各種予備実験
- ・配属後半年以降：研究立案および研究計画提案書作成
- ・D2-D3 前半：研究実施
- ・D3の10月頃：博士論文ドラフト完成
- ・合同セミナー参加(JAIST) (8月)
- ・合同セミナー参加(金沢大学) (10月)
- ・合同セミナー参加(福井大学) (12月)
- ・随時：コンピュータシステム関連査読付国際会議参加・発表（博士後期課程1回以上必須）